



1916 フルハーフ社 セミトレーラー



製造情報

製造商	8月チャールズフルハフ、鍛冶屋
組付工場	デトロイト、ミシガン近郊の鍛冶屋店
モデル生産量	未知の
総生産量	未知の
馬力	
重量	未知の
当時売価	未知の

イノベーション(ポイントのみ)

fifth-wheel技術を一番に取り入れる

自動車によって動くトレーラー製造の最初の年

セミトレーラー

オーゲスト・チャールズ・フルハーフはデトロイトで名の通った鍛冶屋と運送会社でした。1914年、フレデリック・シブラーはフルハーフに彼の16フィートのボートを運ぶためのトレーラーを作ってもらおうと交渉しました。シブラーはフルハーフのデザインに非常に感銘を受けて、木材産業の発達のためにもより多くのトレーラーを注文しました。こうして彼と4人の息子達ハーヴェイ、ハリー、ロイ、そしてアンドリューらによって1918年にフルハーフ・トレーラー社は誕生しました。フルハーフ社は冷凍トレーラー、プラットフォームトレーラー、アルミトレーラー、ステンレススチールトレーラー、ドロップフレームセミトレーラー、キャリーオールや重機用のタンクなどを先駆けて生産していました。これらの車は時速6~7マイルの走行が可能でした。